



1

2025
(令和7年)
No.233

第35回 志賀町を描く美術展 大賞に
若狭 一秀さん（羽咋市）の作品
「悠久の湊Ⅳ」（洋画）が
選ばれました。



町LINE
友だち追加
@shikatown



「マチイロ」
自治体広報紙
配信アプリ

第35回志賀町を
描く美術展の
関連記事は、
4～6ページへ

INDEX

	ページ
2025 年 年頭あいさつ	2-3
第35回志賀町を描く美術展	4-6
志賀町子ども議会 2024	10
まちかどNews	13-15
情報パーク	16-22



受賞者の皆さん



志賀町長

稲岡 健太郎

能登半島地震を 振り返って

令和6年1月1日16時10分頃、能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7を観測する地震が発生、特に本町を含む能登の6市町では甚大な被害に見舞われました。

発災後すぐに、役場庁舎に向かう道中、目に入る惨状に愕然とし、事態の重大さを痛感しました。倒

壊した建物、傾いた電柱、陥没や崩落した道路、隆起したマンホールなどを横目に、避難者で溢れていた庁舎にたどり着きました。

すぐに、人的被害や避難所の開設状況、インフラの被害状況、関係機関への協力依頼や支援要請、物資の在庫などの情報把握に奔走し、職員全員で昼夜を問わず、必死に対応をしていましたが、圧倒的に人手が足りない現実に直面しました。

このような大規模災害が発生すると、被害の状況把握や避難所の運営、物資の管理や断水・停電への対応など、迅速な対処が求められる業務は非常に多く、町の職員だけでは、到底、対応しきれるものではありません。

この局面に対応するため、国の制度に基づき、全国の自治体から多くの職員が派遣され、避難所の運営やインフラの応急復旧、物資の管理をはじめ、り災証明書の発行や各種震災支援制度の受付など、復旧・復興の進捗に合わせて、多くの人的支援をいただきました。この応急的な職員派遣は、6月16日をもって終了しましたが、最終的に延べ16,800人余りの方に応援いただいており、長期間にわたり、職員派遣にご協力いただ

いた自治体の皆さまには、心から感謝を申し上げます。

また4月からは、道路や上下水道、農地などに係る多くの災害復旧事業や、膨大な数の公費解体に取り組むため、国の中期派遣制度を利用して、全国の自治体から、専門的な知識を持った職員が派遣されています。さらに、農地・農業用施設の災害復旧事業および公費解体事業の進捗を図るため、全国の土地改良事業団体連合会や民間コンサル会社からもスタッフが派遣されており、本町の職員と共に、被災したインフラの本復旧と被災者の生活再建に取り組んでいます。

このように、全国からの支援もあり、少しずつ復旧・復興の足掛かりが明確になっていく中で、仮設住宅の建設も完了し、10月18日には、全ての避難所を閉鎖することができました。

被害の全容が明らかになるにつれ、町全体の地震に対する脆弱性が分かりました。

耐震化されていない家屋や経年摩耗の激しい道路網、耐震性の低い上下水道の設備や管路網などのハード面や、避難計画や業務継続計画など災害時における対応策、自主防災組織や住民の防災意識の

醸成などソフト面も含めて、強靱化すべきモノやコトが数多くあります。

町の再生にあたって、私が掲げたいことは、このようなハード・ソフト両面での強靱化です。地震列島である日本に住む以上は、繰り返し発生する地震からは避けて通れないという事実を認め、災害に対する備えをこれまで以上に強化し、あらゆる災害を想定したまちづくりを目指します。

そして、これらを踏まえ、復興の道筋を示す「志賀町令和6年能登半島地震復興計画」を昨年7月末に策定しました。今後は、この計画に掲げる復興プロジェクトをいち早く具体的な形にしていかなければなりません。

今年はい年、そして合併20周年の年であります。い年は蛇が脱皮するイメージから「復活と再生」を意味すると言われています。まさに、震災からの復興と町の再生を目指すに相応しい年であるとともに、次代の志賀町を築く復興へのスタートラインでもあります。

正常な暮らしと生業を取り戻し、災害に強いあたらしい町を創っていくため、全力で取り組んでいきますので、今後も町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

志賀町復興計画の 推進

昨年7月末、「志賀町令和6年能登半島地震復興計画」を策定しました。

「かえる、志賀町」をキーワードに、「人が帰る」「元に戻る」「町を変える」ことを基本理念に、復興方針として、「暮らしとコミュニティの再建」、「まちの特色を活かした生業、地域産業の再建」、「災害に強く住み続けられるまちづくり」、「将来につながるまちづくり・ひとづくり」の4つを掲げ、その方針に従い、14の施策、43の取組項目、87のプロジェクトを掲げています。

このプロジェクトのうち、特に重点的かつ先駆的に取り組むべき創造的復興リーディングプロジェクトとして、「復興のシンボルとなる複合型の避難拠点施設と防災公園の整備」、「災害に強い住宅地の整備と災害公営住宅の建設」、「産業の振興と雇用の創出」、「地域の絆をつなぐ祭りの再興」、「公共施設の再編・再整備」、「オフグリッド型のインフラ施設等の整備促進」、「道の駅とき海街道周辺の再整備」、「移住の促進と起業支援、関係人口の創出」の8つを位置づけました。



復興計画は、「策定したからこれで確定」ではなく、今後の復興の状況や本町を取り巻く環境の変化などを踏まえて、柔軟に対応するため、今後もさまざまな意見を聞く場を設けて、復興計画のブラッシュアップを行っていきます。そして、具体的な事業については、町が毎年策定する事業計画や予算編成において対応していきます。

令和6年能登半島地震 復興支援補助金事業

県では、令和6年能登半島地震により被害を受けた被災者の生活支援をはじめ、住まいや地域コミュニティの再建支援などに活用するため、昨年、復興基金を創設し、市町事業分として、27の基本メニューを決定しました。この中には、地区の集会所や神社など、地域コミュニティ施設の建替え・修繕に活用できる「地域コミュニティ施設等再建支

援事業」があります。この事業は1施設あたり、建替えや修繕に要する補助対象経費の8分の6、上限1,200万円を補助するものです。これに加えて、町では震災で疲弊した集落の負担をより軽減するため、同経費の8分の1、上限250万円を上乗せして、県・町合わせて、最大1,450万円を補助します。

そのほか、地割れや陥没、擁壁転倒など、地震によって大きく変化した宅地の復旧を支援する被災宅地復旧支援事業や、被災前よりも地震に強い住宅に再建する住宅耐震化支援事業についても、別途、町補助金を増額し、被災者支援の強化を図っていきます。

職員の危機管理能力の強化

令和6年能登半島地震に代表されるように、能登北部では、約4年間地震活動が続いており、引き続き強い揺れや津波を伴う地震が発生する可能性があると言われています。

近年、激甚化・頻発化している災害に、迅速かつ円滑に対応していくには、職員一人一人が持つ危機管理能力のさらなる強化が重要です。そのため、町職員には、国や関係機関

が実施する防災研修を積極的に受講させたいと考えています。災害時の初動体制から復旧・復興に至るまでの必要な知識やノウハウを学ぶことで防災スキルの向上に努め、危機的な事態に迅速・的確に対応できる人材や、国や地方のネットワークを形成できる人材の育成を目指し、防災力の向上に努めていきます。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとって、夢と希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とします。

令和7年 元日



10月5日(土)、「リレー形式で和太鼓を叩いた最多人数」の記録に挑戦し、269人でギネス世界記録®を達成しました。

INTERVIEW

大賞受賞者 若狭 一秀さん(羽咋市)

この福浦港の風景を見つけたのは25年前。ちょうど焚火の煙がフワフワと空に昇る様子が幻想的で、描いてみたいと思いました。しかし教員として働く間は忙しく、年賀状にこの風景を描く位でした。昨年はF 8号で製作し個展を開催。個展をきっかけに福浦港の歴史や港の鎖の使われ方を知り、改めて今回の作品を描きました。モノクロの中で少し色が見える所が、自分自身魅力と感じています。これまでお世話になった人々への感謝と、被災者への励ましの思いを込めて描きました。

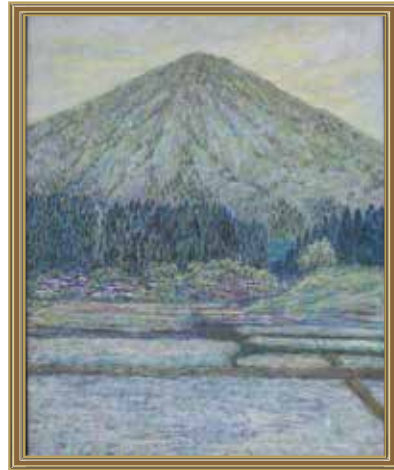


能登の里海賞



漁港の風景(漁具の山) 洋画
鏑木 修(白山市)

能登の里山賞



明日へ 日本画
水口 志華子(金沢市)

表紙の大賞作品をはじめ、受賞作品を紹介します。

志賀町を描く美術展

志賀町の四季を通じて彩りを添える風景や、豊かな自然の恩恵を受けて育まれてきた伝統文化、習慣などを描いた「志賀町を描く美術展」。県内外から寄せられた92点から入賞作品27点が決定しました。

金沢美術工芸大学長賞



2024年8月17日 夕時々雨 洋画
大石 菜々(金沢市)

志賀町議会議長賞



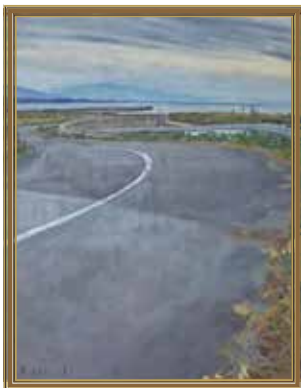
弁天島とかえり船 洋画
倉林 雅幸(小松市)

石川県知事賞



七海海岸 日本画
伊藤 貴萌(七尾市)

志賀農業協同組合長賞



ふと現れる海 洋画
桜井 旭(金沢市)

テレビ金沢賞



Do you remember? 洋画
池田 裕子(金沢市)

北國新聞社賞



春を待つ(安津見の柿園) 日本画
細川 順子(羽咋市)

石川県漁業協同組合西海支所運営委員長賞



富来漁港 洋画
浜本 長春 (内灘町)

富来商工会長賞



あれが古い木造灯台 洋画
中町 勝也 (志賀町)

志賀町商工会長賞



安部屋漁港冬の日 洋画
米沢 善雄 (志賀町)

特選



海に臨む 洋画
矢後 貴恵子 (能登町)

特選



能登金剛 洋画
谷 和弘 (能登町)

特選



残雪の福浦港 洋画
田下 俊一 (金沢市)

奨励賞



里の五月 洋画
須磨 伊佐男 (志賀町)

奨励賞



負けないよ 洋画
川野 博美 (福井県)

新発見賞



遊歩道からの眺め 洋画
田村 英昭 (金沢市)

審査員賞



富来の奇岩 洋画
瀬戸 清明 (羽咋市)

奨励賞



静寂 洋画
篠原 一宏 (金沢市)

奨励賞



HAMANASUの咲く頃 洋画
北村 陽子 (金沢市)

奨励賞



眺望 洋画
大久保 和子 (金沢市)

奨励賞



実り・2024 洋画
福嶋 章 (金沢市)

部門賞（版画）

部門賞（パステル画）

部門賞（水墨画）

部門賞（水彩画）



ハマナス咲く海辺（志賀町）

東元 瑞子（金沢市）洋画海遊び（増穂ヶ浦）洋画

松村 重伸（七尾市）

R6.1.1志賀町震度7日本画

中山 勇（金沢市）

河口の風景洋画

中田 正義（金沢市）

志賀町を描く美術展 金沢展

委嘱作品から一般作品など92点の作品を展示します。ぜひ、ご鑑賞ください。

会期 1月23日（木）～ 26日（日）
9:30～17:00会場 石川県立美術館
第7・8・9展示室観覧
無料

藤本由希葉（志賀小6）



舟山 湊（志賀小2）

能登の里山・里海賞



小林 千紗（志賀中3）



浅野 李昭（富来小5）



畑中 綾心（富来小4）

第35回志賀町を描く美術展に併せて、「能登の里山・里海小中学生絵画展」が開催されました。能登の里山・里海賞を受賞した絵画作品と受賞者を紹介します。

令和
6年度

能登の里山・里海小・中学生絵画展

応募総数…247点 小学生応募作品…197点 中学生の応募作品…50点

◇能登の里山・里海賞

舟山 湊（志賀小2）
畑中 綾心（富来小4）
浅野 李昭（富来小5）
藤本由希葉（志賀小6）
小林 千紗（志賀中3）

◇特選

駒井 瑛斗（富来小3）
横田 佳咲（志賀小5）
都松 結乃（志賀小5）
久里 奏（志賀小5）
成瀬 彩葉（志賀小6）
三谷 芽衣（富来小6）
谷山 慶伍（志賀小6）
小浦 加暖（志賀中2）
出崎 未萌（志賀中3）
西浦 希華（志賀中3）

◇入選

四辻 みお（富来小2）
横田 怜（志賀小3）
萬澤 優衣（志賀小5）
平 帆葉（志賀小5）
谷内 佑有（志賀小5）
室坂 彩葉（志賀小5）
北 大輝（志賀小5）
稲岡 竜己（志賀小6）
山瑞 敏生（志賀小6）
藤勝 愛梨（志賀小6）
野澤 真珠（志賀小6）
山下 士龍（志賀小6）
小松 愛寿（志賀小6）
津田 敦斗（志賀小6）
寺谷 彩夢（志賀小6）
小門前結菜（志賀中1）
漆原 健人（富来中2）
中世 愛莉（志賀中3）
藤田 菜心（志賀中3）

